

2022年度第1回日本心血管脳卒中学会 定期運営委員会 議事録

1. 日時 2022年4月4日(月) 18:00-19:00
2. 場所 国立循環器病研究センター 豊田副院長室/WEB meeting(暗号化された ZOOM にて)
3. 出席者 (50 音順)
運営委員長：小笠原 邦昭
運営委員：伊莉 裕二、池田 隆徳、國原 孝、佐田 政隆、豊田 一則、宮本 享、森野 禎浩
監事：木村 和美
前代会長・今会長・会長予定者：
豊田 一則(第8回会長)、佐田 政隆(第9回会長)、國原 孝(第10回会長)、藤本 茂(第11回会長)
庶務会計幹事：坂井 信幸、豊田 一則
事務局：徳永 梓・井上 学 欠席：飯原 弘二、岡田 靖、平野 照之(監事)

4. 議題 (敬称略)

議長(小笠原 邦昭)は、出席者を確認し、議事録署名人に伊莉 裕二、藤本 茂の両名を指名した。

(1) 開会あいさつ (小笠原 邦昭)

小笠原 邦昭委員長より、第9回、第10回の準備への感謝と心臓と脳が一体となった学会の重要性を表明された。

(2) 2021年度決算案について (豊田 一則、資料1)

会費収入と第10回の準備金を含めた計上を説明し、2021年度決算案(資料1)について、最終版を確定したのちに森野 禎浩監事、木村 和美監事の確認を得た上で決算を総会で報告することを提示し、運営委員会の承認を得た。

(3) 2022年度予算について (豊田 一則、資料2)

第9回学術集会への開催補助金を計上し、2021年度決算に基づいて作成した2022年度予算案(資料2)を説明し、運営委員会の承認を得た。

(4) 第8回学術集会報告 (豊田 一則、資料3)

第8回学術集会では393名の参加者があり、学会より100万円の補助金を得て運営し、収支決算につき税理士による監査を受けたことが報告された。

(5) 第12回会長について (豊田 一則)

中野由紀子先生(広島大学循環器内科教室教授)に打診することになった。

(6) 学術評議員 推薦については改選年ではないため行わないことが報告された。

(7) 定年を迎えた評議員について(退任含む) (豊田 一則、資料11) 後ほど会則改訂にて説明することが報告された。

(8) 第9回学術集会について (佐田 政隆、会長、資料4)

テーマを「脳心連関から考える循環器病対策」として、完全WEBで開催することになり7つのシンポジウムと音声付きの一般演題(デジタルポスター)にて行うことが報告された。また優秀賞として10名に優勝賞を予定しており、学会終了後から一ヶ月間WEB配信も予定することが報告された。

(9) 第10回学術集会について (國原 孝、次期会長、資料5)

テーマを「パラダイムシフトを迎える心脳血管治療」として、東京慈恵会医科大学で副会長に脳神経内科の井口保之教授にお願いし、第87回日本循環器学会(筒井裕之会長)、第48回日本脳卒中学会(木村和美会長)、第53回日本心臓血管外科学会(東信良会長)、CSI education, Focus LAA&PFOの赤木禎治会長、原英彦会長、豊田一則会長らとのJOINTセミナーを企画している。費用面での問題が生じるかもしれないが、前向きに検討していく報告がされた。

(10) 第11回学術集会について (藤本 茂、次々期会長、資料6)

同年の脳卒中学会との同時開催を予定していることが報告された。

(11) 会則改定について (豊田 一則、事務局、資料7-8)

定年を過ぎてでも会に関わってもらいたい意向があり、学術評議員の定年制を撤廃すること、また学術集会の開催時期がコロナ禍で流動的になったため総会を学術集会期間中ではなく、年に一度開催すること、そして電子的運営とすることの説明があり、運営委員会の承認を得た。

(12)その他事務局より

幹事の坂井信幸先生が定年を迎えられることから、幹事から退任いただくことが報告された。

以上この議事録が正確であることを証します。

2022年4月4日

議長： 小笠原 邦昭

署名 小笠原邦昭
小笠原邦昭 (2022年5月16日 13:41 GMT+9)

議事録署名人： 伊莉 裕二

署名 Keiji Ikari

藤本 茂

署名 藤本茂
藤本茂 (2022年5月11日 18:04 GMT+9)